2016.0530　５月例会用資料

ASK歩く会
二ケ領用水　野川(3)

世話人(金作・原田・佐々木・大出・稲田)

開催日　2016年5月20日(金) 晴れ

出発　小田急線　新百合ヶ丘駅

午前　9時00分

解散　午後　3時45分（喜多見駅）

参加者　22名

コース

新百合ヶ丘駅 ⇒ 登戸駅 ⇒ 二ケ領せせらぎ館⇒

宿河原堰 ⇒ 新船島橋 ⇒ 川崎緑化センター ⇒

徒然草の碑 ⇒ 久地合流点⇒ 久地円筒分水 ⇒

大石橋:溝口･二子宿の問屋跡⇒岡本かの子文学碑

⇒多摩川緑地(昼食)⇒野川河口(多摩川に合流)⇒

⇒兵庫島公園⇒野川を遡る ⇒喜多見駅(解散) ⇒

懇親会G、帰宅G⇒ 新百合ヶ丘駅

二ケ領用水について

二ケ領用水は、徳川家康の命により1611年（慶長16年）に完成した農業かんがい用水だ、下流域の新田開発が進んで水不足になった。
そこで二ケ領用水（二ケ領本川）の下流側に、現在の川崎市多摩区宿河原を取水口とする新たな用水が開削され、今でもとうとうと清水が流れ、土手沿いは桜の名所になっている。
それが宿河原用水（二ケ領用水 宿河原線）で、JR南武線久地駅の近くで二ケ領本川（二ケ領用水 上河原線）に合流する。

二ケ領せせらぎ館

二ケ領用水宿河原堰管理所の一角に設けられた「多摩川に関する情報発信拠点」、多摩川に棲息する魚類の展示や、多摩川の歴史・地理・自然などに関する資料が展示されている。

宿河原堰

多摩川右岸側の最下流にある利水施設で、ここから取水された多摩川の水は、二ケ領用水(宿河原線)へ分水される。

新船島橋

いよいよ、二ケ領用水 宿河原線を歩き始めました。

二ケ領用水途中風景

可愛い親子連れ

川崎緑化センター

昭和54年に、市の園芸技術普及農場が「緑化センター」として広く市民に開放され、現在でも園芸講習会や盆栽の展示などが行われている。

川崎緑化センター内風景

小さな可愛い花を見つけました

徒然草の碑

吉田兼好の『徒然草』に、「宿河原」という地名がでてくる。それがここ宿河原ではないかという思いから、町会により平成15年7月に建てられた。

久地合流点

宿河原用水と二ケ領本川との合流点。左岸側から流下してきた本川とここで合流する。　合流したあと、久地の円筒分水に向かって、左手方向に流下する。

種なしブドウの講義を受ける

秋の収穫が楽しみ！

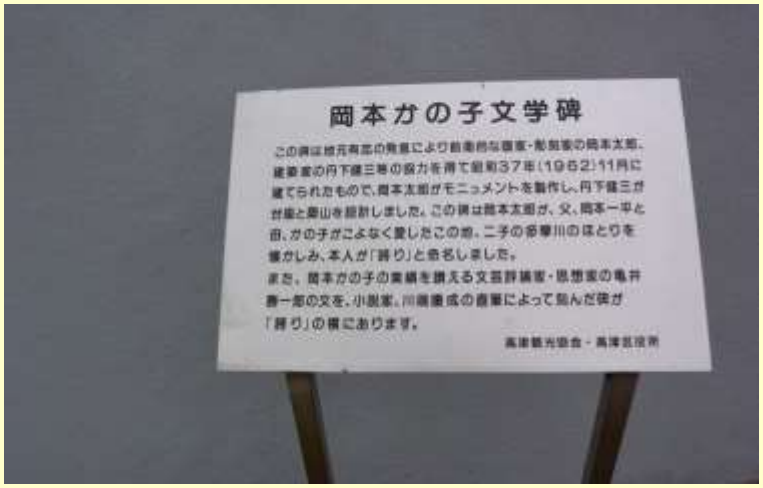
久地円筒分水

西から順に、根方堀、川崎堀、六ケ村堀、久地・二子堀の 4方向へ分岐するため、その各用水路の灌漑面積に応じた一定の比率（7.415 : 38.471 : 2.702 : 1.675）で水を正確に分け流すため昭和16年に建設された施設。国の登録有形文化財となっている。

溝口・二子宿の問屋跡

大石橋の右側に<u>問屋跡の説明板</u>が建てられているが、ここは名主・丸屋七右衛門が宿駅を取り仕切った二子・溝口宿の問屋場があった場所。家業の煙草や麦など卸問屋業も大繁盛だったという。

岡本かの子文学碑



小説家として活躍した岡本太郎の母・かの子 を顕彰する文学碑。かの子の実家に近く、かの子が愛した多摩川のほとりに位置 する二子神社の境内に建てられた。

多摩川緑地(昼食風景)

各自　色々なお弁当を広げて

野川河口

田園都市線　二子玉川駅の下を流れ、多摩川へ合流。

兵庫島公園風景

梅檀の花

野川を遡る

仙川が流入

野川散策のスタート地点に戻る

2015年3月31日に花見を兼ねて、都立野川公園まで登り、その後、
2015年10月23日に野川源流から、都立武蔵野公園まで下りました。
そして、この度、河口からスタート地点に戻りました。お疲れ様・・・・

喜多見駅で(解散)

この後、「懇親会G」「帰宅G」などに分かれて行動

ご静聴有難うございました

今後の予定は、

6月22日(水)　大使館巡り　米露独仏　他

7月20日(水)　横浜(1)　本牧埠頭　他

8月25日(木)　麻生区近郊(5)　矢戸山公園

ですので、宜しくお願い致します。